

高砂高ジャズバンド部の演奏流れる山電高砂駅

解説する銘板設置

「ジャズのまち」アピール

電車の発着時、高砂高校ジャズバンド部の曲を流している山陽電鉄高砂駅（高砂）に、同部員や音符などをモチーフにして「ジャズのまち」

高砂」をアピールし、発着メロディーについて解説するブロンズ製の銘板が目を惹いた。

銘板（縦60センチ、横90センチ）は、高砂商工会議所や市観光交流ビューローなどをつくる実行委員会が約70万円かけて作り、7月中旬に同駅地下の連絡路の壁に取り付けた。ジャズを演奏する同校女子部員の姿をあしら

g Sing Sing (シング・シング・シング)を電車の到着時に9秒間、「A列車で行こう」を出発時に4秒間流している。 議所副会頭中野哲郎さん(63)は「高砂の高校生がわくわくするようなことを、次に始めるきっかけになれば」と期待する。

(笠原次郎)

実行委員長の高砂商工会

電車の発着時、高砂高校ジャズバンド部の曲が使われていることをアピールする銘板＝山陽電鉄高砂駅



くると、同部は50年以上の歴史があり、2004年には加古川出身の上野樹里さんが主演した映画「スウィングガールズ」のモデルにもなった。同部は50年以上の歴史があり、2004年には加古川出身の上野樹里さんが主演した映画「スウィングガールズ」のモデルにもなった。

同駅南の1帯では07年から、ライトアップイベント「たかさご万灯祭」が開かれ、同時にジャズライブが開かれてきた。発着メロディーは、同実行委が19年から、同部の演奏曲「Sin